

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：地方都市問題（2）	
日付：11月03日（月）曜日、セッション時間：10：45～12：15	
司会者名（所属）：田村 亨（室蘭工業大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体： 32名の参加者のもと、3本の論文発表がなされた。質疑はどの論文も3つ程度であったが、議論が伯仲し、各研究の今後の展開の一助となる有意義なものであった。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：木梨真知子（茨城大） 日立市の自主防犯活動の発表に対して、金沢市、福岡市における事例の紹介、防犯活動が警察によって制限されていること、活動主体の成り立ちがその主体のあり方（行政・警察・地域コミュニティの3つ）によって大きく異なること、などが議論された。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：中村翔太郎（早稲田大） 多摩NT近隣センタ-の活性化方策の発表に対して、センタ-の商店主へのヒアリングの必要性、日用品か買回品かによって利用頻度が異なることへの配慮、商店がNT内の個人分譲として扱われたところでは不在地主化していたり個人住宅化していることの問題、などが議論された。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：丁育華（徳島大） 徳島市の商圈とその利用満足度に関する発表に対して、満足度の定義について、中心市街地と歩いて暮らせる街づくりの関係について、ネットショッピングなどの新たな買い物動向を調べることの必要性について、などが議論がなされた。</p>